

オリンピック関連施設の紹介

1. ExCeLロンドン

この施設は、東ロンドンに位置する大規模展示会場です。最寄駅の「Custom House」という単語が示すとおりこの地区はもともと税関として利用されていた土地ですが、東ロンドンの再開発のため、この施設ができました。

毎年初夏に行われるロンドンマラソンの際には、「ExCeLロンドン」がランナーの総合受付やグッズ販売、またスポンサーの展示スペースとして活用され、ロンドンマラソンの運営に重要な役割を果たしています。

延べ床面積は9万㎡あり、幕張メッセ（国際展示場1〜8ホール合計）とほぼ同等で、ロンドンオリンピックの際には、施設内に特設の会場を5か所設け、各競技が開催され



ロンドンマラソン受付の様子

ます。

「ExCeLロンドン」では、オリンピックパークの次に多くの競技が行われるため、五輪会場の中でも中心的役割を担います。ロンドン五輪組織委員会も大会を盛り上げる最も重要な施設の一つとして位置づけされており、一日当たり2万人の観客動員を見込んでいます。

日本のメダル有力競技である柔道

名称	ExCeLロンドン
写真	
施設形態	大規模展示会場
開催競技	<ul style="list-style-type: none"> ■ オリンピック競技 柔道、レスリング、卓球、ボクシング、フェンシング、ウェイトリフティング、テコンドー ■ パラリンピック競技 ボクシング、柔道、パワーリフティング、卓球、バレーボール、フェンシング
管轄区	ニューハム区

名称	North Greenwich Arena (O2 Arena)
写真	
施設形態	大規模イベント会場
開催競技	<ul style="list-style-type: none"> ■ オリンピック競技 体操、トランポリン、バスケットボール(決勝のみ) ■ パラリンピック競技 車いすバスケットボール
管轄区	ノースグリニッチ区

やレスリング、そして最近めきめきと力をつけているフェンシングも開催されるため、ロンドンオリンピックク時には沢山の日本人の熱い視線がこの施設に注がれることでしょう。皆さんぜひ注目してください！

2. North Greenwich Arena (O2 Arena)

「North Greenwich Arena」は、現在O2アリーナと呼ばれるドーム型の大規模イベント会場です。この会場も東ロンドンに位置し、テムズ川のNorth Greenwich Peninsula(半島)の先端にあります。ExCeLロンドンとはテムズ川を挟んで南側に位置します。

東京ドームに黄色の棒を突き刺したようなユニークなデザインで、マイケルジャクソン氏が2009年にこのアリーナでコンサートを予定していました。同氏の死去によりキャンセルになったことは、皆さん

の記憶にも新しいことでしょう。大会期間中は、スポンサーであるO2との関係で、その名称が使えず、「North Greenwich Arena」と称されます。

この会場では、日本のメダル有力競技である体操競技が行われます。2009年には体操世界選手権の会場として使われ、その大会で内村航平選手が男子総合で金メダルを獲得。田中和仁選手も平行棒で銅メダルを獲得するなど相性の良い会場です。

オリンピック本番も日本の国旗が掲げられることを期待しましょう！

ケーブルカーの建設

ロンドンでは日常から交通渋滞が問題になっていますが、この2施設のある地域も例外ではありません。特に、テムズ川を潜って「North Greenwich Arena」へ渡るトンネル

が一つしかなく、テムズ川をいかに渡るかが一つの課題でした。そこで、ケーブルカーの建設話が持ち上がり、2010年7月にロンドン交通局 (Transportation for London) が「ExCeLロンドン」と「North Greenwich Arena」をつなぐケーブルカーの建設を発表しました。総工費は約25万ポンド(約31億円)と言われ、ロンドンオリンピック本番までに建設が完了する見込みです。